

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社モダリス 上場取引所 東
 コード番号 4883 URL <https://www.modalistx.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小林 直樹 (TEL) 03-6822-4584
 定時株主総会開催予定日 2021年3月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	342	△46.9	△398	—	△439	—	△448	—
2019年12月期	644	887.0	157	—	146	—	140	—
(注) 包括利益	2020年12月期		△450百万円(—%)		2019年12月期		140百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	△17.02	—	△8.9	△8.6	—
2019年12月期	5.96	—	5.6	5.7	24.4

(注) 1. 当社では、連結損益計算書において事業収益として記載しているものを売上高と読み替えて表示しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2019年12月期は潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また2020年12月期は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	6,277	6,206	98.9	217.67
2019年12月期	3,938	3,842	97.6	153.09

(参考) 自己資本 2020年12月期 6,206百万円 2019年12月期 3,842百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	△376	△830	2,777	5,421
2019年12月期	224	△61	2,490	3,857

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

2021年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料P3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 -社（社名）、除外 -社（社名） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	28,515,600株	2019年12月期	25,100,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	26,349,967株	2019年12月期	23,572,877株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年1月1日～2020年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い経済活動及び社会生活が制限されている中で、景気の回復には長い期間を要することが予想されており、その先行きがより不透明となっています。

このような状況下において、当社グループは、Every Life Deserves Attention(すべての命に、光を)を経営理念として掲げ、そのほとんどが希少疾患に属する遺伝子疾患に対して画期的な新薬を提供することを目標とし、2016年の設立から5期目に当たる当期におきましても、技術的基盤となるCRISPR-GNDM®プラットフォームの強みを生かし、「幅のある開発」と「バリューチェーンの補完」を目指し、パートナーに技術プラットフォームであるCRISPR-GNDM®技術を開放してパートナーの選定したターゲットに対してパートナーの資金で治療薬の開発を行う「協業モデルパイプライン」と自社でCRISPR-GNDM®技術を用いてターゲットの選定から行い、自己資金で治療薬の開発を行う「自社モデルパイプライン」の2種類を組み合わせたハイブリッド型ビジネスモデルにより遺伝子疾患治療薬の創出を実現すべく取り組みました。

当連結会計年度においては、協業モデルパイプライン5本、自社モデルパイプライン3本を進めております。協業モデルパイプラインにおいては、パートナーと複数パイプラインの共同研究を着実に進めたことにより、1つのパイプラインでライセンスの開発マイルストーン収入(MDL-202)、新たに1つの共同研究開発の契約一時金(MDL-206)及び3つのパイプラインで共同研究開発のマイルストーン収入の獲得を達成することが出来ました。また、自社モデルパイプラインにおいては、MDL-101でサルの実験の開始、MDL-104を新規にパイプラインに追加を含め開発を進捗させております。事業開発ではMDL-101他、複数のプログラムにおいてライセンス契約に向けて取り組んでおります。

以上の結果、事業収益342,000千円(前期比46.9%減少)、営業損失は398,351千円(前期は営業利益157,194千円)、経常損失は439,549千円(前期は経常利益146,351千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は448,407千円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益は140,528千円)となりました。

なお、当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,573,572千円増加し、5,448,546千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,564,240千円増加したためであります。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて765,017千円増加し、828,470千円となりました。これは主に、特許実施権が767,445千円増加したためであります。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて32,873千円減少し、58,266千円となりました。これは主に、その他流動負債が43,792千円減少したためであります。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて7,148千円増加し、11,893千円となりました。これは主に、繰延税金負債が7,148千円増加したためであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,364,314千円増加し、6,206,857千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失発生に伴い利益剰余金が448,407千円減少したものの、資本金が1,407,320千円及び資本剰余金が1,407,320千円増加したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,564,240千円増

加し、当連結会計年度末には5,421,476千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は376,575千円(前連結会計年度獲得した資金は224,148千円)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失439,549千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は830,310千円(前連結会計年度使用した資金は61,769千円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出814,866千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は2,777,992千円(前連結会計年度獲得した資金は2,490,603千円)となりました。これは主に、株式の発行による収入2,749,145千円発生したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は、現時点で協業モデルパイプライン5本、自社モデルパイプライン3本を進めており、2021年度は其中で主に自社モデルパイプラインMDL-101及びMDL-104のライセンスの契約一時金、協業モデルパイプラインMDL-201のライセンスの開発マイルストーン収入の獲得を目指しており、MDL-101はサル試験の結果から動物試験における主な安全性の懸念点を払拭した段階まで進んでおり、より良い条件でライセンスアウトすべく交渉を進めていきます。上記に記載した事項に加えて新規パイプラインの追加、ライセンスアウトや共同研究のマイルストーン収入等の獲得を目指しております。

しかしながら、当社の事業はパートナーとの交渉により進捗すること、ライセンスの契約一時金の事業収益によって当社の業績が大きく変動すること、新たなパートナーとの提携の可能性や新規のパイプラインの獲得の可能性等、当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多いことから、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値に算出が困難であると考えており、通期の業績予想は開示を見合わせることにしました。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となりましたら速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を採用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,857,235	5,421,476
売掛金	6,600	—
その他	11,139	27,070
流動資産合計	3,874,974	5,448,546
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,480	92
機械及び装置(純額)	45,078	48,448
工具、器具及び備品(純額)	1,394	1,233
有形固定資産合計	48,954	49,774
無形固定資産		
特許実施権	—	767,445
ソフトウェア	—	374
無形固定資産合計	—	767,819
投資その他の資産	14,499	10,876
固定資産合計	63,453	828,470
資産合計	3,938,428	6,277,017
負債の部		
流動負債		
未払金	10,424	18,159
未払費用	13,771	17,156
未払法人税等	21,820	21,619
その他	45,124	1,331
流動負債合計	91,140	58,266
固定負債		
繰延税金負債	4,744	11,893
固定負債合計	4,744	11,893
負債合計	95,885	70,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,300,000	2,707,320
資本剰余金	2,621,735	4,029,055
利益剰余金	△79,112	△527,519
株主資本合計	3,842,623	6,208,855
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△80	△1,998
その他の包括利益累計額合計	△80	△1,998
純資産合計	3,842,542	6,206,857
負債純資産合計	3,938,428	6,277,017

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
事業収益	644,500	342,000
事業費用		
研究開発費	303,680	531,896
販売費及び一般管理費	183,625	208,454
事業費用合計	487,305	740,351
営業利益又は営業損失(△)	157,194	△398,351
営業外収益		
受取利息	20	52
補助金収入	477	79
雑収入	621	285
営業外収益合計	1,119	417
営業外費用		
上場関連費用	—	20,104
為替差損	2,489	4,967
株式交付費	9,184	16,374
新株予約権発行費	212	—
雑損失	77	169
営業外費用合計	11,962	41,614
経常利益又は経常損失(△)	146,351	△439,549
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	146,351	△439,549
法人税、住民税及び事業税	1,043	1,210
法人税等調整額	4,779	7,648
法人税等合計	5,823	8,858
当期純利益又は当期純損失(△)	140,528	△448,407
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	140,528	△448,407

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	140,528	△448,407
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	235	△1,918
その他の包括利益合計	235	△1,918
包括利益	140,763	△450,325
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	140,763	△450,325

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,371,735	△219,640	1,202,094
当期変動額				
新株の発行	1,250,000	1,250,000		2,500,000
親会社株主に帰属する当期純利益			140,528	140,528
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	1,250,000	1,250,000	140,528	2,640,528
当期末残高	1,300,000	2,621,735	△79,112	3,842,623

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△315	△315	1,201,779
当期変動額			
新株の発行			2,500,000
親会社株主に帰属する当期純利益			140,528
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	235	235	235
当期変動額合計	235	235	2,640,763
当期末残高	△80	△80	3,842,542

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,300,000	2,621,735	△79,112	3,842,623
当期変動額				
新株の発行	1,407,320	1,407,320		2,814,640
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△448,407	△448,407
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	1,407,320	1,407,320	△448,407	2,366,232
当期末残高	2,707,320	4,029,055	△527,519	6,208,855

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△80	△80	3,842,542
当期変動額			
新株の発行			2,814,640
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△448,407
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,918	△1,918	△1,918
当期変動額合計	△1,918	△1,918	2,364,314
当期末残高	△1,998	△1,998	6,206,857

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	146,351	△439,549
減価償却費	6,693	57,588
受取利息及び受取配当金	△20	△52
補助金収入	△477	△79
株式交付費	9,184	16,374
上場関連費用	—	20,104
為替差損益(△は益)	—	3,393
売上債権の増減額(△は増加)	△1,210	6,600
未払金の増減額(△は減少)	6,601	8,439
未払費用の増減額(△は減少)	3,857	3,942
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△9,036
未払消費税等の増減額(△は減少)	40,290	△43,960
その他	16,199	477
小計	227,469	△375,756
利息及び配当金の受取額	20	52
補助金の受取額	477	79
法人税等の支払額	△3,819	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,148	△376,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,284	△15,148
無形固定資産の取得による支出	—	△814,866
敷金の差入による支出	△10,742	△722
その他	3,256	427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,769	△830,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,490,815	2,749,145
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	49,120
上場関連費用の支出	—	△20,104
その他	△212	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,490,603	2,777,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△890	△6,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,652,091	1,564,240
現金及び現金同等物の期首残高	1,205,143	3,857,235
現金及び現金同等物の期末残高	3,857,235	5,421,476

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	153.09円	217.67円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	5.96円	△17.02円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また当連結会計年度は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 2019年11月29日開催の取締役会決議により、2019年12月22日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)を算出しております。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,842,542	6,206,857
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,842,542	6,206,857
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の株式の数(株)	25,100,000	28,515,600

4. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	140,528	△448,407
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	140,528	△448,407
期中平均株式数(株)	23,572,877	26,349,967
(うち普通株式数(株))	13,319,178	26,349,967
(うちA種優先株式(株))	7,068,493	—
(うちB種優先株式(株))	3,185,206	—

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) A種優先株式及びB種優先株式は、剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同様の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。